

伯耆大山 別山バットレス中央陵 山行報告

日 時：令和2年〔2020年〕2月11日

参加者：東滝・中山・中野・岡村

ル ー ト：大山寺 ⇒ 元谷 ⇒ 別山バットレス中央陵 ⇒ 稜線（夏道）⇒ 大山寺

大山寺 ⇒ 元谷 ⇒ 別山バットレス中央陵 ⇒ 別山沢（左岸の沢）⇒ 元谷 ⇒ 大山寺

所要時間：岡村・中山パーティ … 14時間

東滝・中野パーティ … 15時間30分



大山寺駐車場を5時出発



大山寺で休憩



元谷より北壁に向かう



正面別山
ひざ位の積雪であるが
場所によっては腰位の積雪を
交代でラッセル

上部右側のコルに突き上げた
ところでアイゼン装着

ラッセルを頑張る中野さん



尾根に取付いてからも
膝ほどのラッセ続く



ブッシュに着いた積雪で前進に時間を要した





初めは、東滝・中野パーティと岡村・中山パーティにそれぞれに分かれて登攀。

尾根は、雪がどっぴりと付いていて、交代でラッセルをしながらの登攀を強いられなかなか高度が稼げなかった。

私は途中2か所の岩峰を正面突破したが、東滝・中野パーティは、いずれも右や左に回り込んだルートを取って楽に登れたようである。

別山山頂直下の核心部の岩峰は、まず左の鞍部（こぶしほどの岩の突起でプロテクションが取れた）にせりあがったが、積雪が多く上部の先が確認できなかつたため、いったんクライミングダウンして、右側の鞍部にせり上がり、右側のスタンスにバイルに体をあずけて思い切って乗り移り上部に抜けた。

帰宅後、他の会のホームページを確認したところ、左側の鞍部を登っている画面が確認できたが、その時の積雪の状況次第であろうが、どのルートがベストかは不明。

核心部の岩峰を抜けた後は、右にゆるい雪壁をトラバースして別山山頂へ突き上げた。

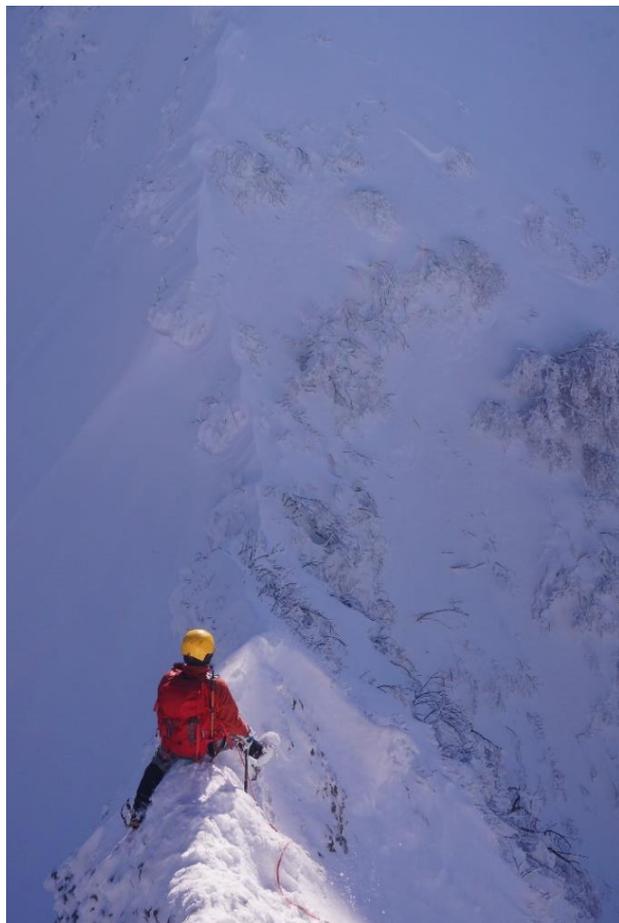
右にゆるい雪壁をトラバースする中山さん、右上部付近が別山山頂



別山山頂は、快晴で太陽の光が注ぎ風もなく素晴らしい景観で、話に聞いていた眼下にやせたりっじが大山の本峰とつながっている。

やせたりっじを鞍部まで馬乗り上になって、雪を崩しながら進んだ。

別山山頂よりやせ尾根を
馬乗りになって下降

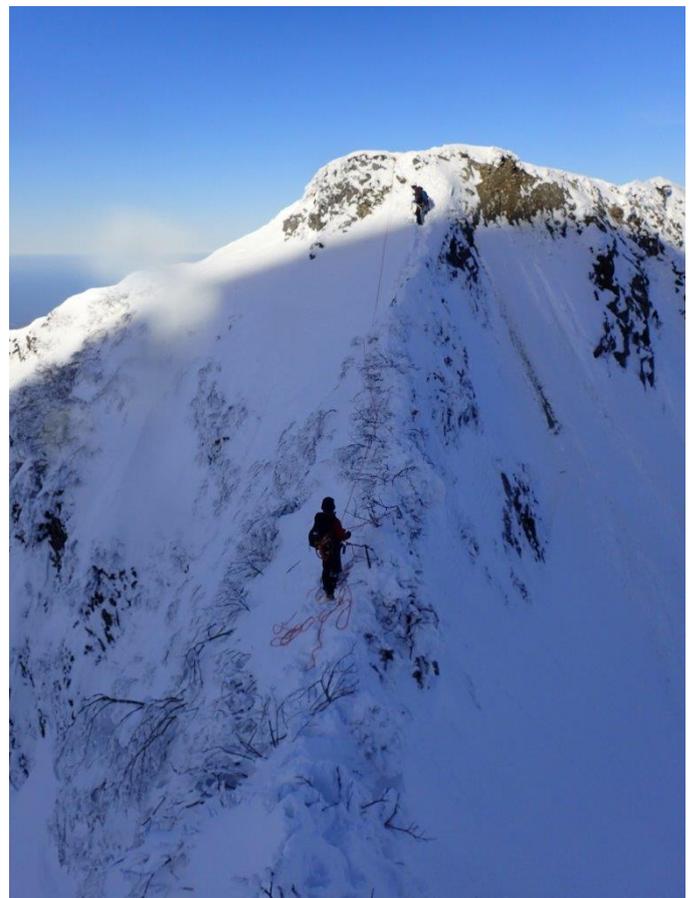


別山山頂にて ↓





別山山頂からのやせ尾根の下降



その後、雪稜を登り夏道の登山道へ抜けたのが16時40分、大山寺駐車場へは、19時到着。



リッジ通過後の雪稜

〔東滝さん報告〕

別山 山頂 15時 山頂からリツチを渡り終えたところで、ザックおろしロープを外しお茶でも飲もうかと思った瞬間 ザックが別山沢に、あっという間に落ちて行ってしまった。

岡村と中山は夏道コース、私と中野 2人で別山沢を降りザックを探しに行くことにした。

幸い二本の沢が合流するところでザックを見つけることができた。ワカンを履いて膝までもぐる雪と体力の消耗でなかなか進まない。大山寺 寿庵に帰り着いたのは 20時 30分だった。



別山沢を下降する東滝さん



下山途中夏道より別山沢を下降する東滝・中野パーティを確認

途中、ザック落下のアクシデント時では、中野さんがビバーク用具を携帯していたため、東滝・中野パーティと岡村・中山パーティに別れて行動した。

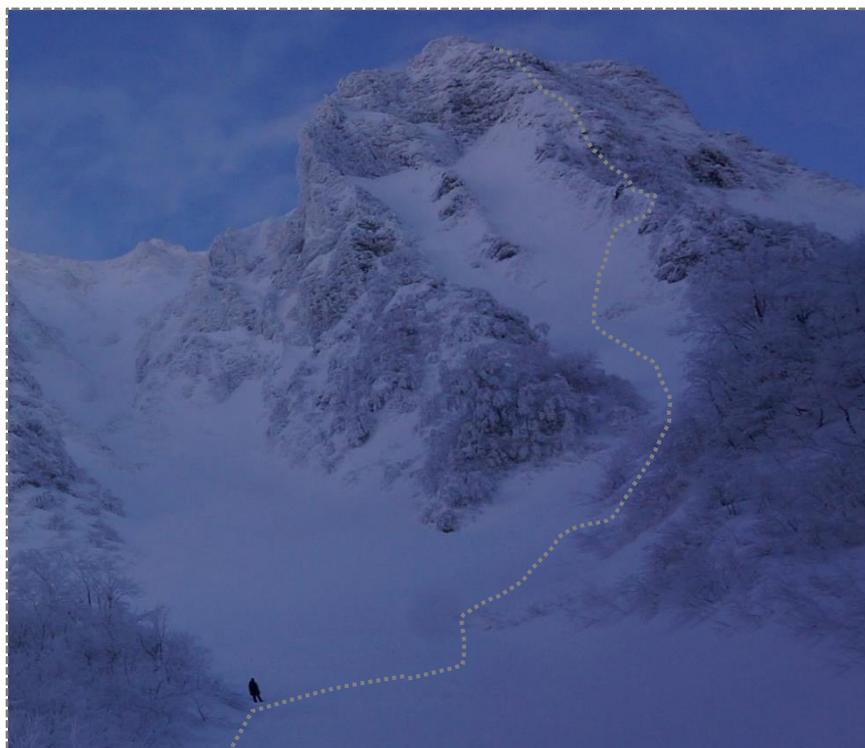
その後、岡村・中山パーティは、夏道経由で大山寺へ下山、14時間行程の山行であった。北九州に12日の早朝3時頃に帰宅。

今回、各個人超充実した思い出に残る山行になったことと思う。

夏道の登山道
へ抜け弥山を
望む

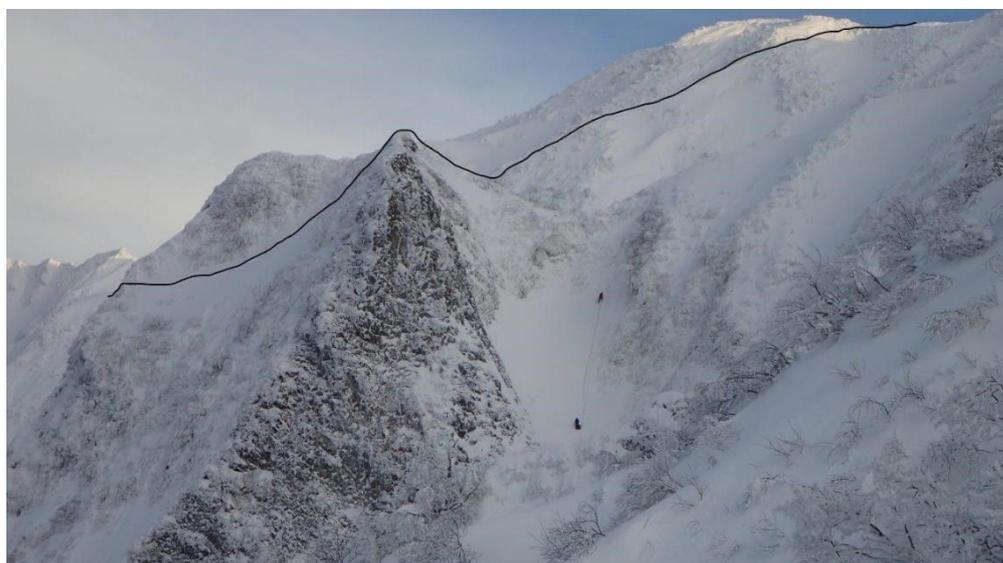


別山バットレス中央陵
今回の登攀ルート
左側面より尾根の途中に取付く



正面より見たルート

夏道下山道より見た
別山山頂付近のルート



レポーター：岡村繁雄